

取扱説明書

大風量加湿 セラミックファンヒーター

型番 ACHHM12A

この商品は海外ではご使用になれません。(FOR USE IN JAPAN ONLY)

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見るできるよう、大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご使用の前に

安全上の注意	3
使用上の注意	5
設置について	6
各部の名称.....	7
正面.....	7
背面.....	7
操作パネル	8

取り扱いかた

準備する	9
水タンクに給水する	9
加湿トレーの取付・取外し.....	10
使いかた	11
運転を停止するには	11
温風運転.....	11
加湿運転.....	12
ルーバーの方向調節	12
イオンモードの設定	13
チャイルドロック	13
人感センサー自動運転	13

お手入れ

お手入れ	14
吸気口カバー・集じんフィルター・本体・水タンク	14
お手入れランプが点灯したとき	15
クエン酸・台所用中性洗剤の使いかた	17
長期間使用しないとき	17

こんなときは

こまったときは・・・.....	18
よくあるご質問	21

アフターサービスとその他の内容

仕様	22
別売品について	23
保証とアフターサービス	23

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に
差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源
プラグをコンセントから抜く
火災・感電・けがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気の多い場所では絶対に使用しない
- 水につけたり、水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



- 屋外で使用しない
火災・感電の原因になります。



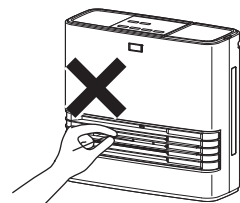
- 子どもなど取り扱いに不慣れな方だけで
使わせたり、幼児に触れさせたりしない
感電・やけど・けがなどの原因になります。
- 梱包用のポリ袋で子どもに遊ばせない
窒息のおそれがあります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。
電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。
- 電源コードを束ねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 延長コードは使用しない
定格15A、交流100Vのコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると発熱により火災の原因になります。
- 電源コードを傷付けない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 乳幼児に電源プラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。



- 吹き出し口やすき間にピンや針金、金属物などの異物や手を入れない
火災・感電・けがの原因になります。
異物が入ったときは、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けが・やけどの原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。

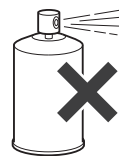
安全上の注意 つづき



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - ・ 運転中時々電源が切れる
 - ・ 触れるとピリピリ電気を感じる➡使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- スプレーをかけない
(殺虫剤、整髪料、潤滑油など)
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない
火災の原因になります。
- スプレー缶などを近くに置かない
爆発のおそれがあります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



火気禁止

- 火気・暖房器具などに近づけない
発火して火災の原因になります。
また、温風で暖房器具の炎が大きくなり、火災・やけどの原因になります。
- 火のついたたばこ・線香などを近づけない
火災の原因になります。



- 上に乗ったり、寄りかかったり、ものを置いたりしない
転倒による水もれ、けがや火災の原因になります。



- リモコンやパソコンなど精密機器を近くに置かない
機器の故障の原因になります。



接触禁止

- 使用中や使用直後は吹き出し口など熱い部分に触れない
やけどの原因になります。
お手入れや持ち運びは、本体が十分に冷めてから行ってください。

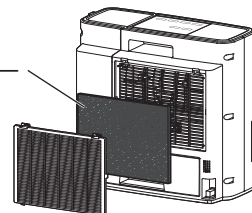


- 長時間同じ部位に温風を当てない
- 皮膚感覚の弱い人、身体の不自由な人に長時間使用しない
低温やけどの原因になります。



- 本体背面の吸気口カバーをふさがない
火災の原因になります。
- 集じんフィルターを装着せずに運転しない
吸い込まれたほこりなどに引火して火災の原因になります。

集じんフィルター



- 暖房以外の用途に使用しない
- 業務など家庭用以外で使用しない
火災の原因になります。



- ペット用として使用しない
ペットの健康を害するおそれがあります。
また、ペットが電源コードを噛む場合は、感電のおそれがあるので近づけないでください。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 長時間部屋から離れるときや就寝時は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
過熱して、火災の原因になります。

水タンクの水について



- **毎日新しいものに取り替える**
水タンクは毎日振り洗いし、常に清潔にしてください。古い水を使用すると、異臭を発したり健康を害する原因になります。

- **1週間以上使用しない場合は、必ず水タンクおよび本体内の水を捨てる**
水が入ったまま放置すると、異臭や周囲の空気の汚れの原因になります。
万一電源が入らない場合は、アイリスコールにご連絡ください。

- **凍結しそうなときは、水タンクおよび本体内の水を捨てる**
凍結すると、故障・水もれにより周囲の汚損の原因になります。



- **水道水以外は使用しない**
40℃以上の水・化学薬品・汚れた水・芳香剤（アロマオイルなど）・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水もれや周囲の汚損の原因になります。



- **水タンクや加湿トレー内に水が入ったまま移動しない**
水タンク・加湿トレーに水が入った状態で移動すると、斜めになったときに水がこぼれて周囲の水ぬれの原因になります。
移動するときは、水タンク・加湿トレーの水を捨ててください。

- **転倒させない**
水もれや火災の原因になります。
転倒して水がもれたときは、十分に乾燥させ、安全を確かめた上で使用してください。
万一電源が入らない場合は、アイリスコールにご連絡ください。



- **移動するときは、本体背面の取っ手か本体の底を持つ**
水が入っているときは移動しないでください。水もれや周囲の水ぬれの原因になります。



- **水タンクや加湿器の部品を正しく取り付ける**
水もれや周囲の水ぬれの原因になります。

- **集じんフィルターは正しく取り付ける**
集じんフィルターを外したまま運転しないでください。吸ったほこりが本体内部に入り、故障の原因になります。

使用上の注意

安全装置について

- 傾いたとき・転倒したときには、傾きセンサーが検知して運転を停止します。（転倒時安全装置）
転倒時安全装置が働いて停止したときは、水平で安定した場所に設置し直してください。その後  ボタンで電源を入れ直してください。
- 電源を入れて最後の操作から8時間経過すると、安全のため運転を停止して電源が切れます。（切り忘れ防止機能）

- 本体が過熱すると、安全のため運転を停止します。（過熱防止安全装置）
過熱防止安全装置が働いて停止したときは、集じんフィルターを掃除し、しばらく放置して本体が十分に冷めてから再度運転してください。

使用環境について

- 室温は5 ～ 35℃で使用してください。
室温が低いと床ぬれや結露がおこりやすくなります。
加湿モードを切り替えたり、室温を上げたりして使用してください。
また、窓際や冷気の影響を受けやすい壁などは、定期的に結露を拭き取るなどして使用してください。

- 観葉植物などに風が直接当たらないようにしてください。
植物がしおれることがあります。

廃棄について

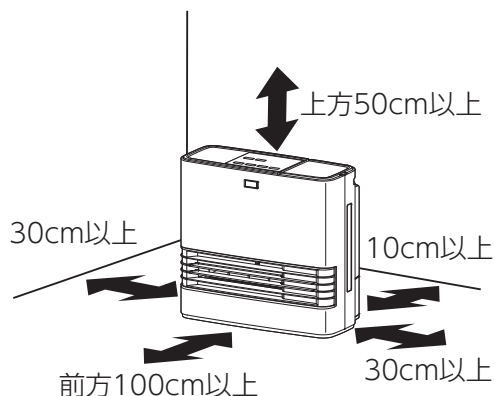
- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

設置について

設置場所について



- 温風が、壁や家具、カーテン、電気製品などに直接当たらないところに設置する
- 設置の際は、壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を空ける
壁・家具・カーテンの損傷・汚損、さらに火災の原因になります。
- 背面と壁の間は最低10cm以上空ける
吸気口カバーがふさがれて、動作不良の原因になります。



- 暖房器具・ホットカーペットなど電気製品の上に設置しない
- コンセントの下に設置しない
火災の原因になります。



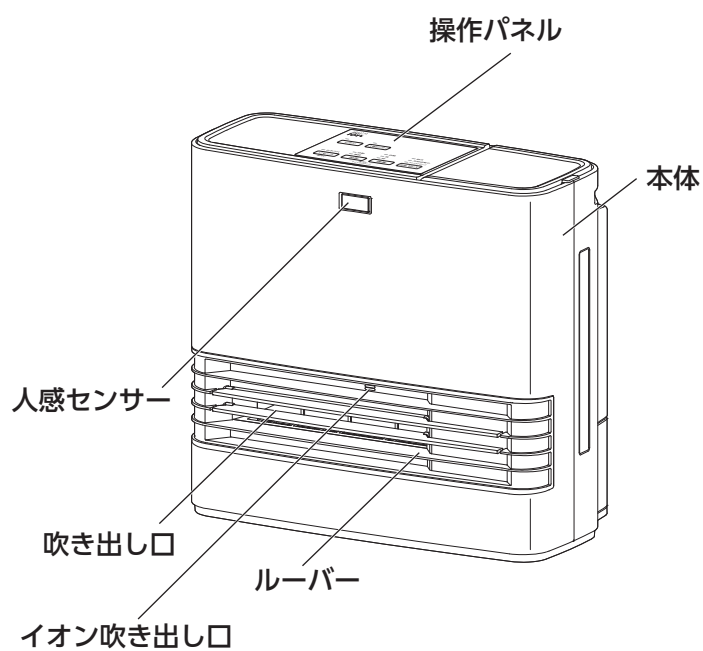
- 水平で安定した床の上で使用する
毛足の長いカーペットやふとんの上などに設置すると、転倒して火災、水もれの原因になります。
また、台の上に設置すると、落下して水もれや火災・やけどの原因になります。

注意

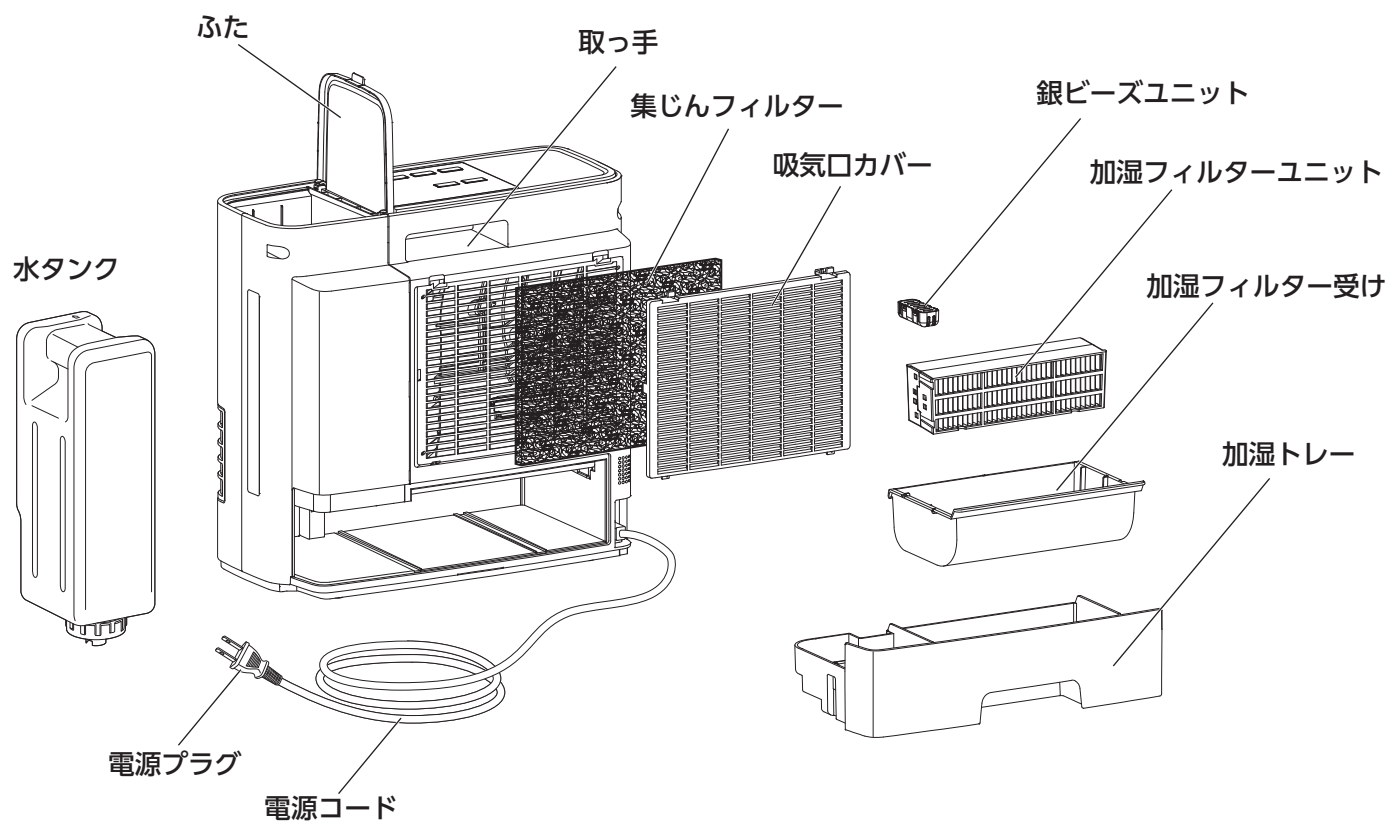
- 「設置場所について」にしたがって設置してください。
- 直射日光の当たる場所や他の暖房器具の近くで使用しないでください。
変形・変色・誤動作の原因になることがあります。
- スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など磁気の出る機器の近くに置かないでください。
正常に運転しないことがあります。
- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。

各部の名称

正面



背面



各部の名称 つづき

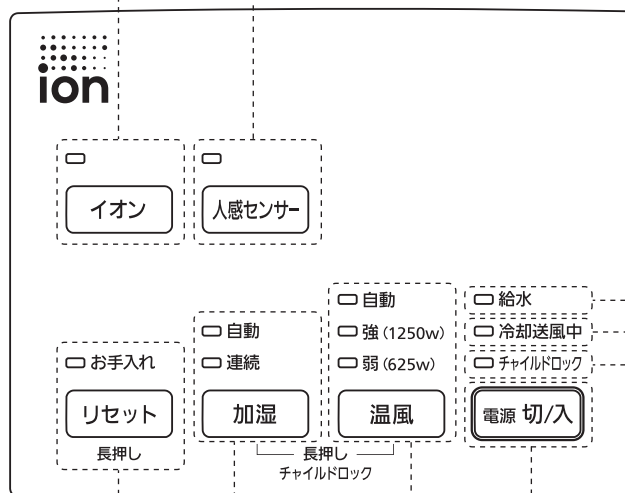
操作パネル

人感センサーボタン・ランプ

入にすると、人がいない間は運転を停止し、人の動きを検知すると運転する節電運転ができます。(→P13)

イオンボタン・ランプ

イオンモードを入／切します。(→P13)



給水ランプ

水タンクが空になると点滅して、加湿運転を停止します。給水した水タンクをセットし、給水ランプ消灯後に自動で加湿運転を再開します。(→P12)

冷却送風中ランプ

冷却送風時に点滅します。

チャイルドロック

お子さまによる誤操作防止のためにチャイルドロックを設定できます。(→P13)

リセットボタン・お手入れランプ

お手入れランプが点灯したときは、お手入れをしてください。(→P14～17)

お手入れが終了したら、ボタンを3秒間長押しし、お手入れランプを消灯してください。(→P17)

加湿ボタン・ランプ

加湿のモードを切り替えます。(→P12)

温風ボタン・ランプ

温風のモードを切り替えます。(→P11)

電源 切/入ボタン

準備する

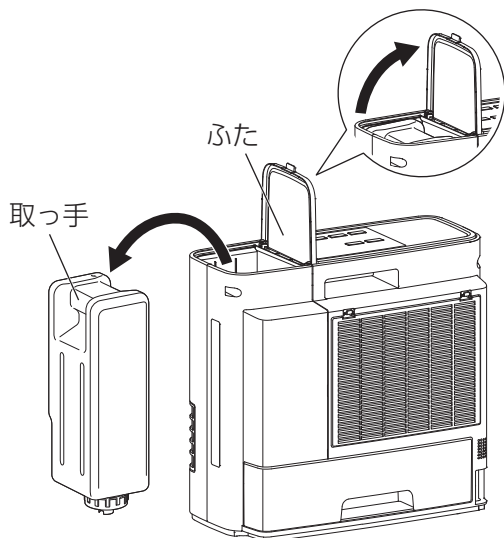
水タンクに給水する

加湿運転するときは、水タンクに給水してください。

※ 温風のための運転のときは、水タンクに給水する必要はありません。

1 水タンクを取り出す

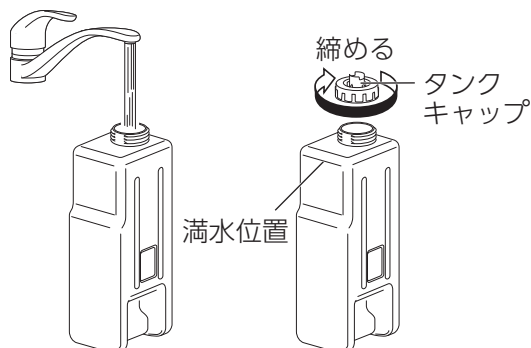
- 本体上部のふたを開け、タンクの取っ手を持ちながら引き上げて取り出します。



! お願い

- 水タンクを勢いよく引き上げないでください。水タンクの底やキャップに付いた水が飛び散って周囲がぬれることがあります。
- 操作パネルに水が付いたときは、すぐに拭き取ってください。

2 タンクキャップを取り外し、水道水を入れ、タンクキャップをしっかりと締める



- タンクキャップはまっすぐにした状態でしっかりと締めてください。傾けて締めると、水がもれることがあります。

! お願い

- タンクキャップを締めた後に、タンクキャップを下にして水もれがないことを確認してください。



注意

- 必ず水道水を使用してください

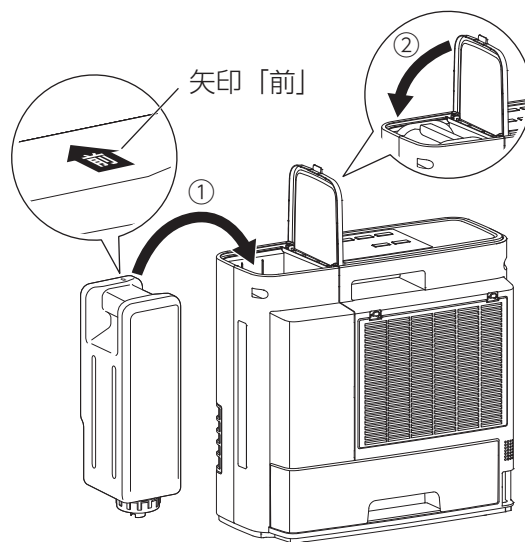
40℃以上の水・化学薬品・汚れた水・芳香剤（アロマオイルなど）・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水もれや周囲の汚損の原因になります。

- 水に化学薬品・香料・精油などを入れないでください。

かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水もれや周囲の汚損の原因になります。

3 水タンクを本体にセットし、本体上部のふたを閉める

矢印で指している面を前側にセットしてください。逆に入れると給水ができなくなります。



! お願い

- タンクキャップはしっかりと締めてあることを確認してからセットしてください。

- 給水時は、加湿トレーを確実に取り付けてください。加湿トレーがずれていると水タンクに水が入っていても、給水ランプが点滅して加湿運転はできません。

- 給水直後は加湿トレー内に水を供給するまで時間がかかるため、加湿運転はできません。

加湿トレーの取付・取外し

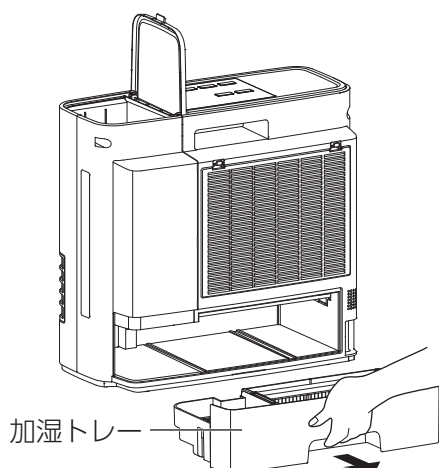
■ 取り外し

1 水タンクを取り出す

- 取り出しかたは「水タンクに給水する」の手順1を参照してください。(→P9)

2 加湿トレーを取り外す

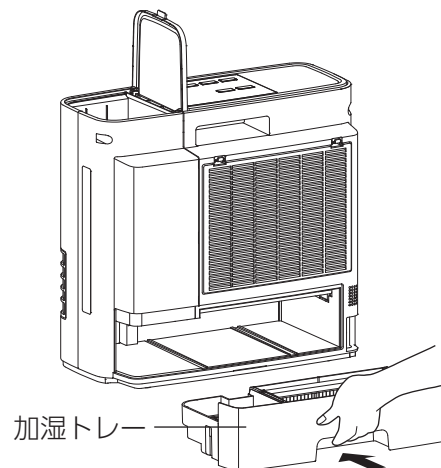
- 手前に引いて取り外してください。



※ 先に水タンクを取り出していないと、加湿トレーは本体から取り外すことはできません。

■ 取り付け

1 加湿トレーを押し込んで、確実に本体にセットする



※ 加湿トレーが確実にセットされていない場合は、給水ランプが点滅し、加湿運転が行われません。

加湿フィルターユニットについて

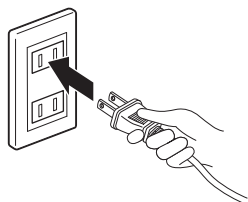
- 加湿フィルターユニットの交換目安は3シーズン（約18か月）です。

❗ お願い

- 加湿フィルターユニットは必ず本体にセットしてご使用ください。(→P17)

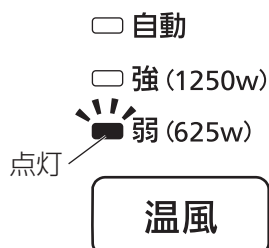
使いかた

1 電源プラグをコンセントに差し込む



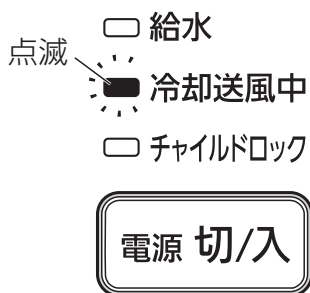
2 電源 切/入 を押す

- ・ 運転を開始します。
- ・ お買い上げ時は、温風弱となっています。以降は停止時と同じモードで運転を開始します。(電源プラグを抜くとお買い上げ時の状態に戻ります)



運転を停止するには

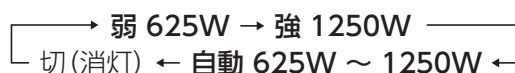
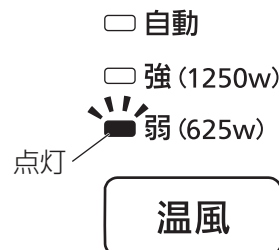
- ・ 運転中に 電源 切/入 を押す
- ・ 「ピーッ」と鳴って、冷却送風中ランプが点滅し、一定時間冷却送風した後、運転が停止します。



- 冷却送風中は、電源プラグを抜かないでください。

温風運転

- ・ 運転中に 温風 を押す
 - ・ 以下のように温風が切り替わります。
- ※ 加湿モードと併用運転ができます。
- ※ 温風のみで運転するときは給水の必要はありません。



自動 625W ~ 1250W

→自動的に「強」、「弱」運転を切り替えて、室温が約22℃になるように運転します。

強 1250W

→ヒーター出力 約1250Wで連続運転します。

弱 625W

→ヒーター出力 約625Wで連続運転します。

- ※ 他の暖房機器と併用したときなど、本体周囲温度が約40℃以上になると安全装置が働き、運転を停止することがあります。

自動モードについて

- ・ 室温を約22℃に保つように自動的に温風を切り替え、部屋のあたためすぎを防ぎます。



- 部屋があたたまると、自動的に強運転から弱運転に切り替わり、さらに室温が上がると、あたためすぎを防止するため、冷却送風運転したあと運転を停止します。室温が下がれば、再度運転を開始します。

■ 温風と加湿の併用運転

- ・ 温風 と 加湿 を押し、お好みで運転モードを選択できます。
- ※ 温風・加湿共に「切」の場合は、一定時間後に自動的に電源が切れます。

使いかた つづき

加湿運転

- ・ 運転中に **加湿** を押す
 - ・ 以下のように加湿モードが切り替わります。
- ※ 温風モードと併用運転ができます。



連続

→ 常時加湿運転をします。

自動

→ 目標湿度を55%に設定して、加湿量を自動で調整します。(湿度が約55%に達すると加湿を停止し、湿度が下がると加湿を再開します)

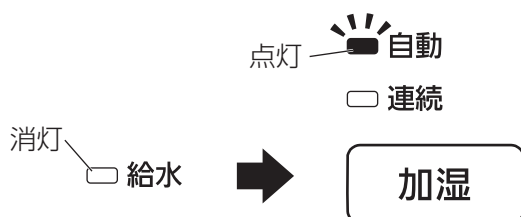
- 凍結のおそれがある場合は、水タンクと加湿トレーの水を捨ててください。
- 長時間水を入れて放置すると水質が悪くなり、異臭や周囲の空気を汚す原因になります。
- 加湿モードを使用しない場合は、水タンクと加湿トレーの水を捨ててください。

■ 給水ランプが点滅したら

- ・ 加湿運転時に水タンクの水がなくなると、ブザーがなり給水ランプが点滅します。



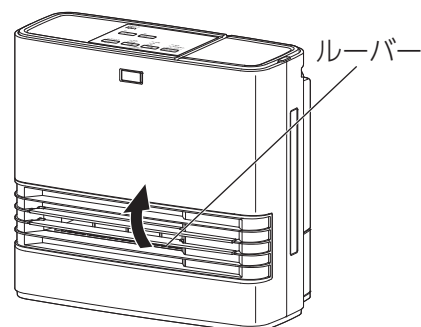
- ・ 水タンクに給水し本体にセットしてください。給水ランプが消灯後、加湿運転を再開します。



- ※ 水タンクをセットしても、加湿トレー内に水が十分に供給されないと、加湿が始まらないことがあります。(最大約1分間は給水ランプが消灯しません)
- ※ 温風と加湿の併用運転時に、給水ランプが点滅した場合、温風運転は停止しません。

ルーバーの方向調節

吹き出し口のルーバーは上方向に調節することができます。

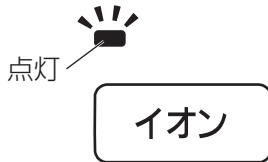


- 温風運転中や運転直後はルーバーが熱くなっていることがあります。やけどの原因になりますので、ルーバーには触れないでください。

イオンモードの設定

本製品はイオン発生器を内蔵しています。

- ・ 運転中に **イオン** を押す
- ・ **イオンランプ** が点灯し、イオンを放出します。



- ・ イオンモードを終了するとき、再度 **イオン** を押してください。

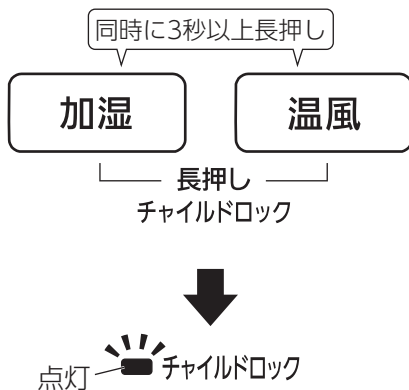
ポイント

- 温風モードや加湿モードと併用することができます。イオンモード単独では使用できません。

チャイルドロック

お子さまの誤操作防止のためにチャイルドロックを設定できます。

チャイルドロックをかけるには



- ・ 再度長押しするとOFFになりチャイルドロックランプが消灯します。

※ チャイルドロック設定時の動作は次の通りです。

運転中： **電源 切/入** での運転の停止とチャイルドロック解除のみ有効です。

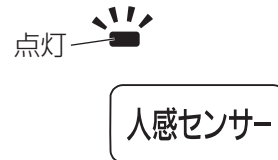
運転停止時： お子さまの誤操作防止のためチャイルドロックの解除のみ有効です。

※ 冷却送風中にチャイルドロックは解除できません。

人感センサー自動運転

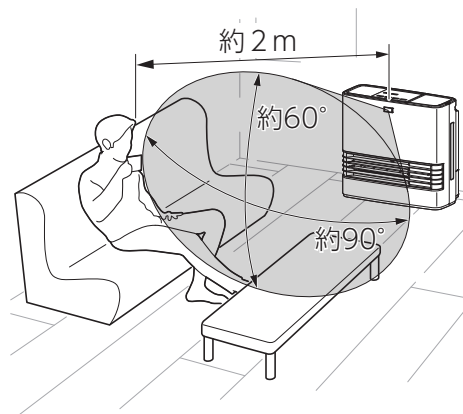
人感センサーが人の動きを検知している間だけ運転する「節電運転」ができます。

- ・ **人感センサー** を押す



- ・ 人の動きを検知しなくなってから5分後、一定時間**冷却送風中**ランプが点滅し、冷却送風したあと、運転を停止します（**人感センサーランプ**が点滅します）。
- ・ 運転停止後、人を検知すると運転を再開します。

人感センサーの検知エリア



検知しない、反応が悪いとき

- ・ 冬季など、衣類を着込んで体温が外に発散されない場合
- ・ 室温が異常に高い場合
- ・ 人感センサーに向かって直進した場合

作動しない、誤動作する場所

- ・ カーテンや植物など風でゆれるものの近く
- ・ 人感センサーや人感センサーの検知エリアに直射日光が当たる場所
- ・ 他の加湿器やエアコンなどの風が当たる場所

人以外のペットや熱を出す器具（他の暖房器具）などにも反応する場合があります。

人がいても、動きが小さかったり、じっとしているときには運転を停止します。

使用環境によっては、2m以上離れたところで人が動いても、人感センサーが検知することがあります。

お手入れ

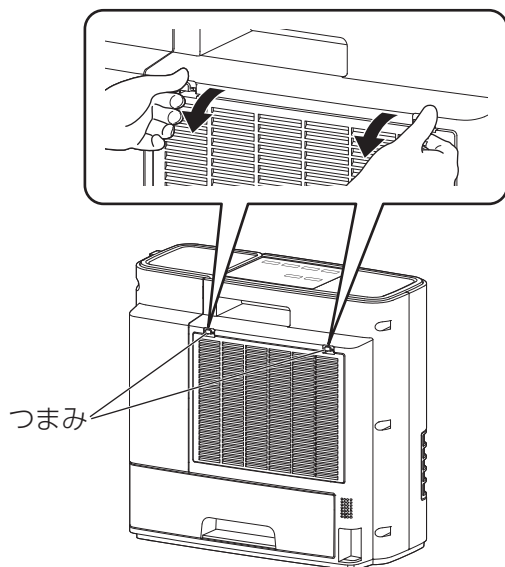


注意

- お手入れするときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、本体が十分に冷めてから行ってください。
- 本体に水をかけたり、水洗いしたりしないでください。

吸気口カバーの外しかた

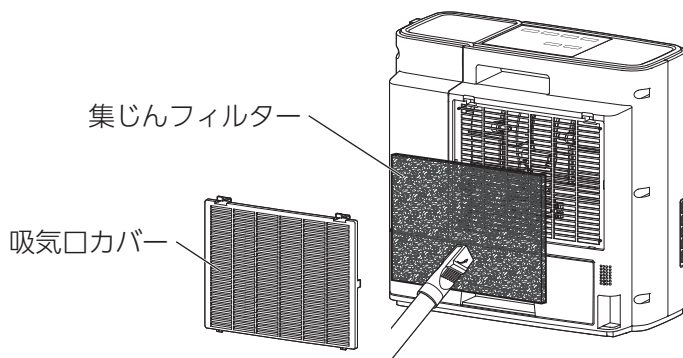
吸気口カバーのつまみを押し下げて吸気口カバーを外す



吸気口カバー・集じんフィルター (2週間に1回程度)

吸気口カバーと集じんフィルターのほこりを取り除く

- ・掃除機などでほこりを取り除いた後、集じんフィルターを入れてください。



- 集じんフィルターは水洗いしないでください。
- 集じんフィルターが破損するおそれがあるので、ていねいに扱ってください。
- 集じんフィルターを外したまま運転しないでください。ほこりが内部に入って故障の原因になります。

！お願い

- 集じんフィルターが破損した場合は、アイリスコールへお問い合わせください。

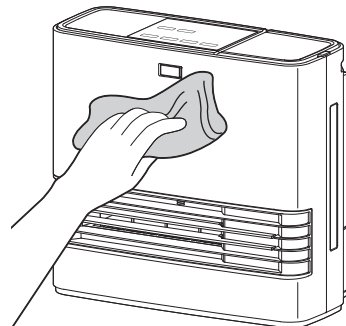
本体 (1か月に1回程度)

よく絞ったふきんで拭く



ポイント

- 汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた布で拭いた後、洗剤分が残らないように、よく絞った布などで水拭きしてください。



- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

水タンク (毎日)

水で洗う

※ご使用の間は、タンク内部を清潔に保つため、毎日新しい水道水と入れ替えてください。



ポイント

- 水あかが落ちにくいときは、タンク内部に台所用中性洗剤を薄めたぬるま湯を入れてタンクキャップを締め、振り洗いをしてください。(洗剤が残らないようしっかりすすいでください)

お手入れランプが点灯したとき (2週間に1回程度)

- お手入れランプが点灯したときは、次の手順で加湿フィルターユニットや加湿トレイなどをお手入れしてください。

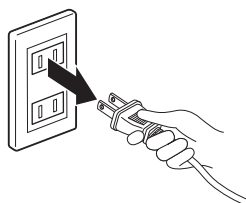
点灯  お手入れ

リセット

長押し

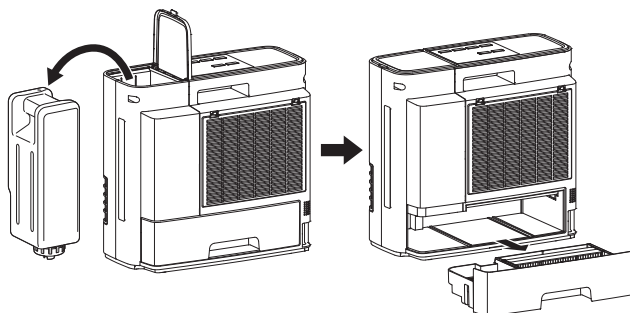
- ※ 水質によって汚れ具合が変わるため、においがする場合やタンクの水が減りにくい場合は、**お手入れランプ**が点灯する前でもお手入れしてください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

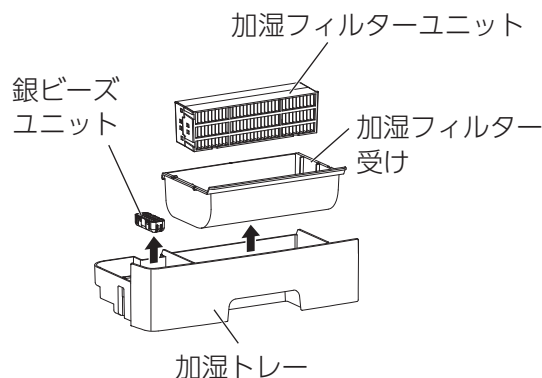


- 運転時は、まず **電源 切/入** で電源を切り、冷却送風停止後に電源プラグを抜いてください。

2 水タンク、加湿トレイの順に取り出す



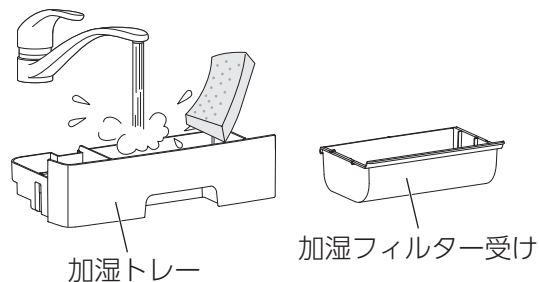
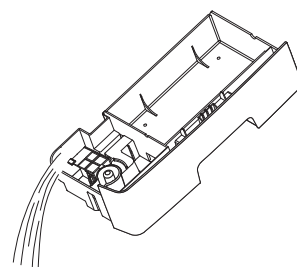
3 加湿フィルターユニット、加湿フィルター受け、銀ビーズユニットを取り外す



- ※ 銀ビーズユニットから白い粉や黒い粉が落ちることがありますが、性能や使用上の問題はありません。

4 水を捨て、加湿トレイと加湿フィルター受けのお手入れをする

- 水を捨てたあと、加湿トレイと加湿フィルター受けは水洗いをし、スポンジや歯ブラシなどで汚れを落としてください。



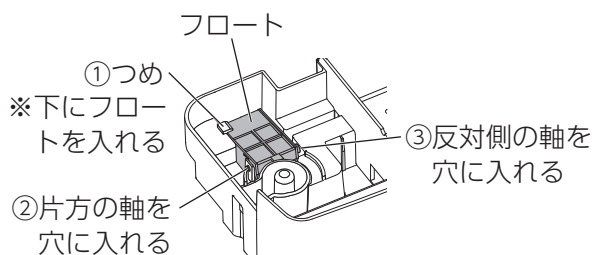
- ※ 研磨剤の入ったスポンジは使用しないでください。
 - ※ 水あかが取れにくいときは、クエン酸または台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯に柔らかい布を浸して、汚れを拭き取ってください。
 - 洗浄後は加湿トレイの外側の水気は拭き取ってください。
- 詳しくは、「クエン酸・台所用中性洗剤の使いかた」(→P17) を参照してください。



- フロートは外したり、分解しないでください。(フロートに付いている発泡材は梱包材ではありません)

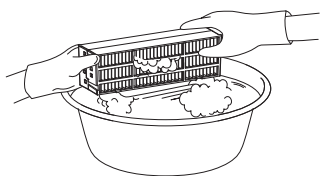
フロートが外れたとき

- フロートをつめの下側に入れてから (①)、片方の軸を穴に入れて (②)、反対側の軸も穴に入れます。(③)



5 加湿フィルターユニットのお手入れをする

- 水かぬるま湯ですすぎ洗いしてください。
- 水あかや汚れを洗い落としてください。
- 水を入れ替えて数回すすいでください。
- ※ しつこい汚れやにおいが気になるときは「クエン酸・台所用中性洗剤の使いかた」(→P17) を参照してください。



- 加湿フィルターユニットは力を加えて洗わないでください。型くずれします。
- プラスチック枠は外さないでください。
- 指定以外の洗剤を使用しないでください。
- すすぎが不十分だと、においの発生や故障の原因になります。
- 洗浄が不十分だと、加湿量(水の減りかた)が落ちる原因になります。

加湿フィルターユニットの交換時期

加湿フィルターユニットの表面には、ご使用とともに白色や赤茶色の固まりが付着しますが、水道水に含まれる鉱物(カルシウムなど)であり、異常ではありません。

- 加湿フィルター交換時期は3シーズン(約18か月)(1日8時間、約6か月の使用が1シーズンの目安です)です。

※ 水質により、加湿フィルターユニットの寿命が異なります。3シーズン以内でも、次のような状態になった場合は交換してください。

- お手入れしてもにおいや加湿量(水の減りかた)がお手入れ前と変わらない
- 変色・汚れがひどい、傷みや型くずれがひどい
- 白色や赤茶色の固まりが加湿フィルターユニット全面に付着し洗浄しても取れない

※ 古い加湿フィルターユニットは、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがって廃棄してください。

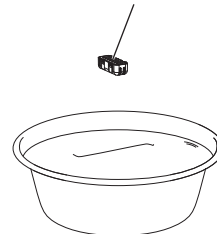
材質：PBT、ポリエステル

6 銀ビーズユニットをお手入れする

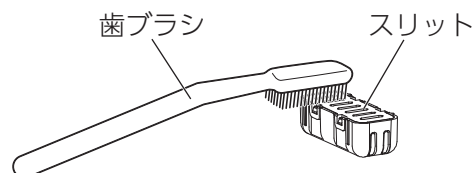
- クエン酸または台所用中性洗剤で約30分間つけ置き洗いしてください。(→P17参照)

※ 分解しないでください。

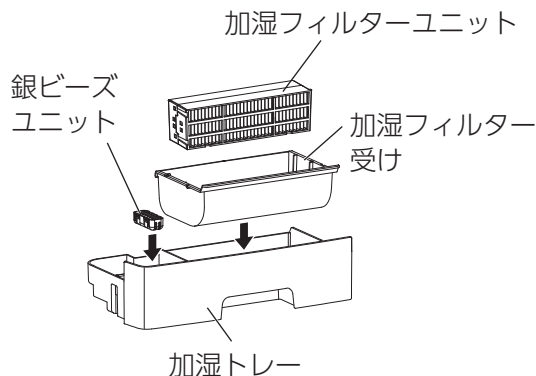
銀ビーズユニット



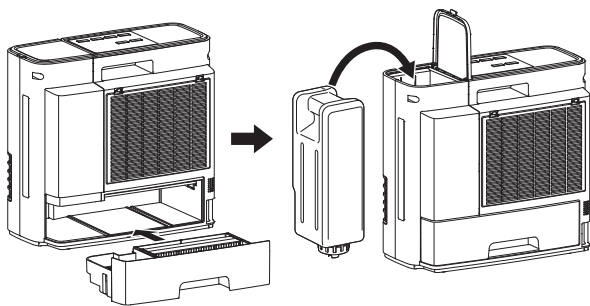
- 水洗いし、本体にセットしてください。汚れがひどい場合は、歯ブラシなどで軽くこすって汚れを洗い流してください。本体にセットするときは、スリット面が上になるようにセットしてください。



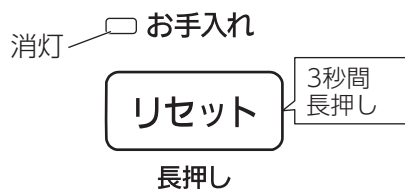
7 加湿フィルターユニット、銀ビーズユニット、加湿フィルター受けを加湿トレーに戻す



8 加湿トレー、水タンクの順に取り付ける



9 電源プラグを差し込んで、必ず **リセット** を3秒間押す



- ※ **お手入れ**ランプが点灯する前にお手入れをした場合も同様に **リセット** を3秒間押してください。「ピッ」と音がするまで押してください。(累計使用時間がリセットされます)
- ※ 加湿フィルターユニット、加湿フィルター受けは確実に元どおりにセットしてください。

● 加湿トレーに水が入っている状態で電源プラグを差し込んでいる場合は、ご使用の有無にかかわらず2週間(約336時間)経過すると、お手入れランプが点灯します。
電源プラグを抜いている間の時間は累積しません。

クエン酸・台所用中性洗剤の使いかた

クエン酸水溶液の作りかた

- ・ 3Lの水またはぬるま湯に対し、クエン酸20gまたは大さじすりきり2杯を入れてよく溶かします。
- ※ 濃度が高いと部品が破損するおそれがあります。

台所用中性洗剤の分量

- ・ 2Lの水またはぬるま湯に対し、台所用中性洗剤を20mL溶かします。

使いかた

- ① クエン酸または台所用中性洗剤を溶かした水またはぬるま湯につけおきしたあと、すすぎ洗いをしてください。
 - ・ つけおきの時間は、以下の通りです。
加湿フィルターユニット：8時間
銀ビーズユニット：30分間
- ② 新しい水ですすぎ洗いをしてください。
 - ・ 水を入れ替えて、2～3回繰り返すすすぎ、洗剤・クエン酸が残らないように十分に水洗いしてください。

長期間使用しないとき

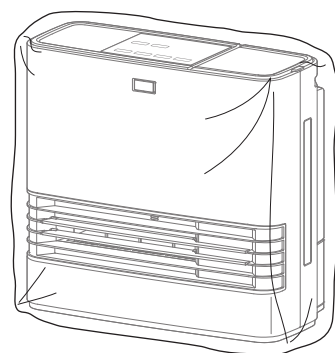
1 水タンク内、加湿トレー内の水を捨てる

2 本体内部の水を拭き取り十分に乾燥させる

- ・ 各部品のお手入れ後、水分をよく拭き取り、十分に乾燥させてください。
水タンク・加湿フィルターユニット・銀ビーズユニットはかびの発生を防ぐために十分に乾燥させてください。

3 湿度が低い場所に保管する

- ※ ほこりがたまらないように箱かポリ袋に入れ、直射日光の当たらない湿気の少ない場所で保管してください。



こまったときは・・・

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、以下の点を確認してください。

状態	原因・処置
電源が入らない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない可能性があります。電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	チャイルドロックがかかっている可能性があります。 加湿 と 温風 を同時に3秒以上長押しして、解除してください。
	転倒時安全装置（傾きセンサー）が働いている可能性があります。水平で安定した場所に設置して、 電源 切/入 で電源を入れ直してください。
	過熱防止安全装置（温度センサー）が働いている可能性があります。 電源 切/入 で電源を切り、吸気口カバーを外して集じんフィルターを入れ直し、しばらくしてから、再度電源を入れてください。
電源が切れた	転倒時安全装置（傾きセンサー）が働いている可能性があります。水平で安定した場所に設置して、 電源 切/入 で電源を入れ直してください。
	過熱防止安全装置（温度センサー）が働いている可能性があります。 電源 切/入 で電源を切り、吸気口カバーを外して集じんフィルターを入れ直し、しばらくしてから、再度電源を入れてください。
	運転時間が8時間経過し、切り忘れ防止機能が働いた可能性があります。8時間以上継続して使用するときは、 電源 切/入 を押してください。
	温風・加湿共に「切」の場合は、一定時間後に自動的に電源が切れます。 電源 切/入 を押して、再度お好みの運転モードを選んでください。
暖かにならない	使用している部屋が広すぎる可能性があります。適用床面積以内の部屋で使用してください。（→P22）
	ドアや窓が開いている可能性があります。暖房効率を上げるために、できるだけ部屋を密閉してください。
加湿されない	加湿運転装置が切（消灯）になっている可能性があります。 加湿 を押して、連続または自動を選んでください。
	加湿運転が自動になっている可能性があります。加湿自動運転の場合、湿度約55%を保つように自動的に運転・停止を繰り返します。故障ではありません。
加湿されない （給水ランプが点滅している）	水タンクに給水し、本体にセットした直後の可能性があります。加湿トレー内に水を供給するまで加湿運転はしません。給水ランプが消灯後、加湿運転を再開します。（最大約1分間は給水ランプが消灯しません）
	水タンクのの水を使い切った可能性があります。水タンクに給水し、本体にセットしてください。（→P9）
	加湿トレーまたは水タンクがきちんとセットされていない可能性があります。加湿トレー・水タンクをきちんとセットしてください。（→P9、P10）
	フロートが外れている可能性があります。フロートを取り付けてください。（→P16）

状態	原因・処置
においがする	集じんフィルターにほこりがたまっている可能性があります。吸気口カバーを外し、集じんフィルターのほこりを取り除いてください。(→P14)
	初めて使用するとき、においが出ることがありますが、異常ではありません。使用に伴い、しだいになくなります。
	水タンク、加湿トレーに古い水が入っている可能性があります。お手入れをしてください。(→P14、15)
	芳香剤を水タンクに入れている可能性があります。芳香剤の使用をやめてください。
水タンクのキャップから水もれする	水タンクのキャップがきちんと締まっていない可能性があります。水タンクのキャップは、まっすぐに、しっかりと締めてください。
人感センサー自動運転中に、人がいないのに温風が出る	検知エリアに、風で動く植物や洗濯物・暖房機器・直射日光の当たる場所・その他の熱源などがある可能性があります。検知エリアから誤動作の原因を取り除くか、他の熱源がないところに人感センサー（本体正面）を向けてください。
人感センサー自動運転中に、人がいるのに温風が出ない	検知エリアに人がいない可能性があります。人がいるところに人感センサー（本体正面）を向けるようにしてください。
	人が動かないので検知できない可能性があります。手などを動かしてみてください。
	人感センサーに向かって直進しているので検知ができない可能性があります。検知エリアを横切るように動いてみてください。
	人感センサーの前に障害物があるので動きを検知できない可能性があります。障害物を取り除いてください。
	人感センサーが汚れている可能性があります。人感センサーの汚れを柔らかい布などで拭き取ってください。
	周囲の温度が高く体温との差が少ないため検知できていない可能性があります。周囲との温度差が小さいと、検知しにくいことがあります。故障ではありません。
	冬季など、衣類を着込んでいると体温が外に発散されないため、検知できない可能性があります。周囲との温度差が小さいと、検知しにくいことがあります。故障ではありません。
水タンクの水が減らない	水タンクがきちんとセットされていない可能性があります。水タンクをきちんとセットしてください。
	加湿フィルターユニットがきちんとセットされていない可能性があります。加湿フィルターユニットをきちんとセットしてください。
部屋の湿度が上がらない	部屋が「加湿の目安」の床面積より広い可能性があります。「加湿の目安」をご確認ください。(→P22)
	使用環境の影響を受けている可能性があります。換気状態や床、壁の材質によって異なります。
	加湿フィルターユニットがきちんとセットされていない、または目詰まりしている可能性があります。加湿フィルターユニットを必ずセットしてください。またお手入れをしても目詰まりが取れない場合は、加湿フィルターユニットを交換してください。
「ボコン、ボコン」と水タンクから音がする	水タンクに水が入っている場合、加湿トレー内の減った水を供給するときに空気を吸い込む音がしますが異常ではありません。

こまったときは・・・ つづき

■ エラー表示

状態	原因・処置
点滅  お手入れ リセット 長押し その他全 LED の点滅	内部異常を検知した可能性があります。電源プラグを抜き、アイリスコールにご相談ください。
点滅  お手入れ リセット 長押し  自動  強  弱 温風	電源周波数の異常を検出した可能性があります。電源プラグをコンセントに差し直して、再度電源を入れてください。それでも直らないときは、アイリスコールにご相談ください。
点滅  お手入れ リセット 長押し  自動  強  弱 温風	過熱防止安全装置（温度センサー）が働いている可能性があります。 電源 切/入 で電源を切り、吸気口カバーを外して集じんフィルターをお手入れし、しばらくしてから、再度電源を入れてください。
点滅  お手入れ リセット 長押し  自動  強  弱 温風	転倒時安全装置（傾きセンサー）が働いている可能性があります。水平で安定した場所に設置して、 電源 切/入 で電源を入れ直してください。
点滅  お手入れ リセット 長押し  自動  強  弱 温風	周囲温度が高くなっている（約40℃以上）可能性があります。 電源 切/入 で電源を切ってください。室温が5 ～ 35℃の環境で使用してください。

状態	原因・処置
点滅  お手入れ リセット 長押し ☐ 自動 ☒ 強 ☐ 弱 温風	温度センサーの異常を検出した可能性があります。電源プラグを抜き、アイリスコールにご相談ください。
点滅  お手入れ リセット 長押し ☐ 自動 ☒ 強 ☐ 弱 温風	温度センサーの異常を検出した可能性があります。電源プラグを抜き、アイリスコールにご相談ください。

よくあるご質問

Q	A
湯気（蒸気）が出ません。 加湿できていますか？	● この製品は水を沸騰させない加熱気化式なので湯気（蒸気）は見えません。 <加熱気化式> 温風により、水が気化（加湿）する 加湿トレーの水を加湿フィルターユニットで吸い上げて温風で蒸発させて加湿しています。
温風のみで使用するときは 給水しなくても運転できますか？	● 給水しなくても運転できます。
加湿運転時に吹き出し口から出る 風が冷たいのですが？	● 気化するときに、熱を奪うためです。お部屋の広さによっては風が冷たく感じる場合があります。

それでも解決できないときは
お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

● ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

仕様

電源電圧	AC100V		
電源周波数	50 / 60Hz		
温風のみ消費電力	「強」：1250W、「弱」：625W		
加湿量 (室温20℃、湿度30%)	温風「強」+加湿「連続」	温風「弱」+加湿「連続」	加湿「連続」
	600mL/h	250mL/h	380mL/h
加湿運転時の消費電力	1200W	680W	670W
安全装置	電流ヒューズ (20A、3.15A)、傾きセンサー (内蔵)		
	温度ヒューズ (100℃)、温度過昇防止用サーミスタ		
水タンク容量	約2.5L		
外形寸法 (電源コードを除く)	幅391×奥行191.7×高さ365.4mm		
質量	5.5kg		
電源コード長	1.8m		

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

※ 水分を含んだ加湿フィルターに温風を当てて加湿する方式のため、加湿運転のみでも電力を消費しています。

■ 暖房の適用床面積 (目安)

断熱材の厚み	木造住宅	コンクリート住宅
なし	約3畳 (5.1㎡) まで	約4.5畳 (7.2㎡) まで
50mm	約6畳 (8.9㎡) まで	約8畳 (13.4㎡) まで

※ 暖房の目安は、一般社団法人日本電機工業会の統一基準に準拠しています。

室内外温度差15℃以内の地区で、暖房設定温度 (暖房快適室温) 20℃としたときを基準とし、1畳=1.65㎡ (50Hz) として小数点第1位を切り上げています。

目安表示値の基準値

住宅の種類	木造住宅		コンクリート住宅	
断熱材の厚み	なし	50mm	なし	50mm
1㎡当たりの必要W数	244W	140W	174W	93W

■ 加湿の目安

運転	プレハブ洋室	木造和室
温風「強」+加湿「連続」	～17畳	～10畳
加湿単独	～10畳	～6畳

連続運転できる時間 (室温20℃、湿度30%)

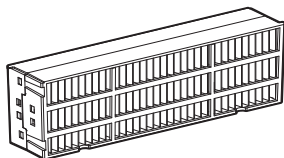
運転	連続運転時間
加湿「連続」+温風「強」	約4.2時間
加湿「連続」	約6.5時間

- ・ 連続運転時間は、加湿トレーに水が入っている状態で満水の水タンクをセットした場合です。
- ・ 室内の温度、湿度によって連続運転時間は変わります。

別売品について

- お買い上げの販売店またはアイリスプラザ (<https://www.irisplaza.co.jp>) でお買い求めください。

加湿フィルターユニット
(別売品)
品番：JKC125D1-F



- ・ 加湿フィルターユニットは消耗品ですので、保証期間中でも「有料」とさせていただきます。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただきます場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

長年ご使用の加湿セラミックファンヒーターの点検を！		
愛情点検	こんな症状はありませんか	● 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする ● 電源を入れても、運転しないときがある ● 運転中に異常な音がする ● 電源コードが傷付いている ● その他の異常や故障がある
		▶ ご使用中止 故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店に点検を依頼してください。

大風量加湿セラミックファンヒーター ACHHM12A

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間 ただし、消耗品除く	
お客様	お名前		※販売店
	住所 〒		
	電話 () -		
		住所・店名	
		電話 () -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

お客様サポート

24時間365日
Web即時回答サービス



専用パーツのご購入

アイリスオーヤマ
公認通販サイト



製品に関する
お問い合わせ
(通話料無料)

アイリスコール 0120-311-564

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関する
お問い合わせ
(通話料無料)

修理専用コール 0800-170-7070

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。